

東京 陵 水

平成20年度総会
特 別 号

同じテーブルで楽しく同期会を！ 平成二十年度支部総会へ集まろう

平成二十年度陵水会東京支部

総会は、五月二十一日（水）、

午後六時から、港区元赤坂二丁

目二―二十三の、歴史的建造物

を本館とする都内有数の由緒を

持つ、明治記念館「富士の間」

において開催される。今回の当

番幹事には大学二十回卒業生が

当たる。

特別講演の講師には、滋賀大

学産業共同研究センター教授、

山崎一真氏をお招きした。「母

校と彦根の時のデザイン」の演

題により、彦根城四百年祭を契

機に盛り上がりを見せた彦根の

街並の変遷、母校とそのキャン

パスの歴史の中から生まれた

「キャンパスツーリズム」など

会員の多くが最も関心をよせる

事柄について講演される。

【開催概要】

○会 費

男性会員 七千円

女性会員 三千五百円

二十歳代会員 三千五百円

○次 第

①議 事 平成十九年度事業

報告並びに収支決算報告およ

び監査報告 平成二十年度事

業計画並びに収支予算計画

その他事務局からの要望、説

明事項

②特別講演 「母校と彦根の時

のデザイン」滋賀大学産業共

同研究センター教授、山崎一

真氏

③懇 親 会 参加者全員

祝辞と乾杯 堀川馨陵水会

理事長

当番幹事の紹介。アトラクシ

ョン（抽選会）。懐旧の学生歌

など。

平成二十年度支部総会に向けて
○支部幹部・当番幹事諸君の絶
大なご支援を得て準備は順調
に推移

平成二十年度は我々第二十回
卒が当番幹事であるということ
は二年程前から意識していまし
たが、突発的な業務都合で昨年
三月中旬から六月中旬まで全く
身動きがとれませんでした。前
年度総会出席者の一人である河
原正喜君から連絡をもらって準
備に着手したのが七月に入って
からとなりました。

早速、蔵彰君の音頭で陵水会
東京支部から大二十回卒業会員名
簿を入手し、手入れを行うと共
に同期会案内を行っていただき
第一回会合を実施しました。そ
の際、昨年度総会同様立派に成
功させようとの意思固めを行っ
た。会場探しは百名程度収容可
能でコスト面でも一人七千円程
度を目途に福原隆君、松山仁君
が精力的に動いてくれました。
記念講演講師についても当初は
平井善三君が候補者に涉りをつ
けてくれました。
第二回会合は九月に陵水会東
京支部から西坂支部長、山本副
幹事長にご出席願ひ、支部総会
開催日と会場を先ず決定するこ
とであるとのアドバイスをいた

明治記念館

〒107-8507 東京都港区元赤坂2-2-23 Tel.03-3403-1171 (大代表)



JR(中央・総武線)信濃町駅徒歩3分、地下鉄(銀座線・半蔵門線・大江戸線)青山一丁目駅(2番出口)徒歩6分、地下鉄(大江戸線)国立競技場駅(A1出口)徒歩6分、都バス「権田原・明治記念館前」徒歩1分(品97)新宿駅西口⇄品川車庫前



当番幹事の皆さん



明治記念館

いただきました。会合では①日程は例年通り五月中旬、会場は各方面からのアクセスと相応の格式を備えたところを選定する。なお、人数は例年の五割増を目標とすること。②記念講演は学研派でなく、彦根について楽しい話ができる人をお願いする。③「同じテーブルで同窓会をしよう」を合言葉に懇親会にかなりの時間を費やす。④アトラクションを用意して場の雰囲気盛り上げる。等を決定しました。

これを踏まえて日程・場所については前述の福原君と松山君が担当して二〇〇八年五月二十一日（水）、明治記念館で見事抑えてくれました。記念講演講師は最終的に西坂支部長が大学の力石理事に相談されて、野村総研出身で彦根を世界遺産にすることに熱心な山崎教授を推薦いただき小生が先生と折衝して快諾を得ました。アトラクションは企業PRを兼ねて会員所属企業から賞品提供をお願いする、その他参加者勧奨は結束力・連絡機会を考慮してクラブ・ゼミ・勤務先といったチャネルを活用するとの方向性を相互確認できました。同時に女性・若い世代の参加勧奨も議論しました。

その後、十月の加藤幹事長を

お迎えしての第三回会合を経て十一月には陵水会東京支部役員幹事会に十四名の大二十回卒会

員が出席して、平成二十年度総会について“の報告とお願いを行い了承が得られました。〇五月二十一日開催の支部総会に参加して彦根を話題に同期

会を盛大にやりましょう

陵水会東京支部会員特に大学二十回卒以降の方は、同期で集まる機会も少なく旧交を温めることができないのが実情と思われれます。我々大二十回卒も彦根を巣立ってから三十五年振りにお会いした人、中には今回初対面の同期もいたというのが現実です。

幸いにも記念講演として山崎一真教授から「母校と彦根の時のデザイン」をテーマにいろいろな角度から興味深くお話ししていただけますので、講演の内容を切り口に四年間を過ごした彦根に思いを馳せて、同期各位と同じテーブルで楽しく同期会を行っていただけたら幸いです。女性会員・二十歳代の若い会員には会費半額補助、参加者にはレア物を含む賞品を用意という特典もございますので多数の会員のご参加を是非ともお願い申し上げます。（大八木 勉記）

特別講演要旨

「母校と彦根の時のデザイン」

山崎 一真

滋賀大学産業共同センター教授
彦根城築城四百年祭が行われた昨年（二〇〇七年）、彦根の

まちは多に盛り上がった。滋賀大学も協賛事業をおこなって、これに一役かった。お城を巡って滋賀大学に至る「キャンパスツーリズム」と、キャンパス全体をパビリオンに見立てた「土魂商才」館のオープンである。言うまでもなく、「土魂商才」は、旧制彦根高等商業学校の建学の精神であり、新生滋賀大学経済学部を引き継がれた教

学上の精神である。
時は錦秋、お城を巡って「土魂」を感じ、滋賀大キャンパスで「土魂商才」を学んだ。土曜日から翌々週の日曜日まで開かれたキャンパスパビリオン「土魂商才」館では、講演会が三回の土曜日・日曜日に開催された。また、講堂裏のホールでは、旧制彦根高商の建学前夜から、戦後の苦しい時期を乗り越えて現



在に至る歴史を、年表、写真パネル、画像放映、物品展示などで語った。また、キャンパス内

の随所にQRコードの付いたカードを貼り付け、携帯電話をかざせば、その情報をいつでも取り出せる仕組みを導入した。これは「ユビキタス学習型観光システム」と称して本学が研究を進めているもので、学校関係者に体験機会を提供するとともに、来訪者に学内散策を楽しんでもらうための仕掛けである。

この築城四百年祭は、彦根市民に「私の城下町」という意識を培った。これまでは世界遺産の暫定登録と云われても他人事であったが、ここに来て、本格登録に向けて盛り上がりが見られるようになったのである。

彦根市役所内に、「彦根の世

界遺産登録に関する懇談会」が設けられ、ここで今、戦略を練っている。講演者の私も懇談会のメンバーであり、議論の中で「キャンパスツーリズム」「土魂商才」という視点の重要性を強調している。

講演者が「キャンパスツーリズム」構想の提案者であり、また、キャンパスパビリオン「土魂商才」館のコーディネータを勤めたことから、講演では、その内容を詳しく紹介する。「母校と彦根の時のデザイン」と題し、彦根の街並みの移り変わ

り・大学とキャンパスの歴史を、画像をふんだんに使った講演になるので、楽しんでいただければ幸いです。

アトラクション案内

今回は抽選会を行います。

現在二十回卒業生を中心に、諸先輩方にもお願いし、抽選会にあてる賞品の提供をお願いしています。なかには、お金を出しても手に入らないレア物も用意しています。なるべく多くの方にできれば全員に総会に出席した証として、賞品を持ち帰っていただける様、努力をしていますので、多くの方の参加をお願いしますと共に、賞品のご提供もよろしく願います。賞品に提供してもよいという物なら一個でも結構です。是非ご一報下さい。受け渡しについては、ご相談させていただきます。

連絡先

岸岡 真人（独）NEDO技術

開発機構・TEL・〇四四―

五二〇―五一四一

松尾 秀昭 S M B Cファイナ

ンスサービス（株）TEL・

〇三一五四四四―一五二四